

おしらせ

- ◎平成15年度一般公開のおしらせ
- ◎タイ王国カセサート大学林学部(KUFF)と共同研究協力に関する覚書(MOU)交換

◎平成15年度一般公開のおしらせ

来る4月16日(水)、科学技術週間・筑波地区行事の一環で、当所を一般公開いたします。森林総合研究所の中を「みる」、最新の研究に携わる研究者と「はなす」、研究の成果に「ふれる」ことのできる絶好の機会ですので、ぜひお越し下さい。

科学技術週間とは、発明の日(4月18日)を含む月曜から日曜までの一週間のことで、今年は4月14日(月)～20日(日)に当たります。これは、科学技術について広く関心を持ってもらい、その理解を深めてもらうようとして定められたものです。

科学技術週間の行事として、全国各地で様々な催しが行われます。筑波研究学園都市にある各研究機関は、筑波地区行事の一環として、一般公開を行っています。最新の研究成果を一般の方に理解していただけるよう、趣向を凝らした展示やイベントを行っています。

●今年のおもなイベント

○研究紹介

森林と共生し、安全で豊かな生活を送るために、私たちは森を守り、森を守り、森を活かすことを常に考えていく必要があります。このような、日常生活に密接なつながりのある森の働きや仕組みや利用の仕方一端を、私たちが今までに発刊してきた研究情報版「研究の森」からよりピックアップし、紹介します。

○ミニ講演会

<12:30～13:30>

「古くて新しい木造建築のお話

—現代でも解明しきれない伝統的な木構造—

講師：軽部 正彦

(構造利用研究領域主任研究官)

木材の特性と日本の環境から形作られてきた伝統的な木造の仕組みをお話しします。

(約1時間)

○もりの展示ルーム公開

生物多様性研究棟1階「もりの展示ルーム」を公開いたします。生物多様性の研究について分かりやすくご覧いただけます。

○樹木園案内

<10:15～11:15、14:15～15:15>

研究者が園内の樹木を解説しながら、ご案内します。(約1時間)

○林業機械デモンストレーション

<10:30～11:10、14:00～14:40>

大型林業機械を実際に動かします。(約40分)

○耐震試験公開

<11:40～12:00、15:10～15:30>

住宅の耐力壁の耐震試験を行います。

(約20分)

○林産展示室公開

さまざまな木製品などをご覧下さい。

◎タイ王国カセサート大学林学部(KUFF)と 共同研究協力に関する覚書(MOU)交換

去る3月11日(火)、タイ・バンコックのカセサート大学林学部長室において、廣居忠量森林総合研究所理事長代理の小林繁男研究管理官と、Utis Kutintara 林学部長との間で、科学及び技術協力のために森林総合研究所・KUFF間のMOUが交わされました。

当所は、科学技術庁プロジェクト「熱帯林変動」を平成元年(1989年)から平成11年(1999年)までカセサート大学林学部及びその他関連機関と行ってきましたが、その当時はタイ王国科学技術会議(NRCT)と科学技術庁(STA)との間でMOUを結んでいました。今回は、環境省のプロジェクト「荒廃熱帯林のランドスケープレベルでのリハビリテーションに関する研究」並びに文部科学省のプロジェクト「タイ熱帯季節林の更新・維持に及ぼす山火事・タケの一斉開花の影響の解明」などのプロジェクトをカセサート大学と共同で行うため、MOUを交換しました。

- 日時：平成15年4月16日(水)
10:00～16:00

- 場所：独立行政法人森林総合研究所
茨城県つくば市松の里1番地

- 交通：JR常磐線「牛久駅」→関鉄バス
「森林総合研究所」(約15分)

- 一般公開の時は筑波研究学園都市内無料巡回バスが運行されます。

- 問合せ：企画調整部 研究情報科 広報係
Tel. 029-873-3211(内線227)
Fax. 029-874-8507
E-mail : kouho@ffpri.affrc.go.jp
URL http://www.ffpri.affrc.go.jp/



伝統的な木構造
—社寺仏閣の建築物—

○プレゼント

苗木、木片等を用意しております。

苗木：イロハモミジ

エゾマツ

ハナノキ

ヒトツバタゴ

シロヤマブキ

コブシ

オガタマ

ロウバイ

ハナミズキ

ブナ

シャリンバイ

キョウチクトウ など。



MOUに署名するUtis Kutintara林学部長(左)